



路 政 僧

我が島帝國民に海國的覺醒を諭さるゝの聖慮、畏くも賢し、國民の感激惜く能はざる所、國民一致聖旨に答へ奉らむことを期せよ。

政界の陰謀者研究會、幹部排斥の醜

狀を曝露す、假令夫れが御殿女中式内

紛たるにせよ、同會改革の動機を與へ

たのは想はざる儲けものと言、之に

原因して貴族院改革の端を開かば更に

妙。

國民公選議員の構成する下院に對立

する貴族院、民衆政治の爲に改革すべ

きは、今更言ふ迄もない、この當然事

をも尙實現出來ない現在、貴族院に蟠

▽ △

秋空爽かなるとき、大觀艦式を行は

せらる、集るもの大小艦艇百六十隻、

威風堂々濱海を壓して我が國礎の固き

を示す、昭和の盛事と言ふべし、併し

是れ我に軍國主義のあることを物語る

ものでは無い、國家自衛權よりする最  
小限度の施設に不過。

知るべし軍縮會議に於ける我が主張  
の精神を、和平是れ我が主義、東洋に

軍港を築造したり我を假裝敵國とする

某々國とは、其の主義に於て奢壤の差、

可い加減に醒めよ某國。

聖上陛下、此盛事に群臣を召さる、

居し、研究會即ち貴族院の感あらしむる專恣横暴。之を膺懲して再び政界のバチルスたらしめざるは現下の契緊事、否な寧ろ國民は進んで研究會の解散を希望す。

▽ △

府縣會議員の選舉終了し、政友會の勝利に歸す、されど數の勝利は以て卿等の枕を高くするを許さない、都市に於ける在野黨の勝利は何を物語るか、夫れは有識階級の反政友會氣勢の暗示にあらずして何ぞや、此氣勢で卿等今後の行動は監視され、やがて次の總選舉に勘定さるゝ譯、勝つて兎の緒を締めよ政友會。

早や擡頭して來た府縣會役員の爭奪戰、陣套の行事とは言ふものゝ、普選後にも尙之を觀る、我が政界の不祥事、

夫れ政界の改革乃至改善は、百年河清を待つ類か、モ一少し覺醒せよ國民。

府縣議選に利用せられた自轉車税の廢止問題、在野民政黨から發せられた御題目、小僧上りの選舉民煽動の爲に

は或は可、併しながら何故に自轉車に限つて廢税すべきかを不説、廢税に依る地方財政の補充に不及、人氣取りの出鱈目と言ふべし、天下を取るに及んでは實行不可能の聲明、あまりに一時的小策を弄する勿れ、夫れとも憲政會内閣時代と同一に道路改良費を減少して廢税する意なりや、吾人民政黨の爲に惜む。

▽ △

豫算編制閣議始まる、在野當時振出した手形の勘定と、我國財政の實際とは符合しない筈、之を如何に始末すべしか、國民が政友會の政治的能力を試験するの秋、刮目を要す。

地租委譲は翌年度廻し、自作農創定は審議會附議と夫れから夫れと移選、實行年度を聲明しなかつた勢でも無からうが、移選ばかりでは新政策が無くなる、序でに相談するが田舎へ通ずる鐵道の建設も鐵道會議に附議することに決定しては如何、寧ろ夫れが國家の爲。

道路改良費豫算要求額壹千萬圓、査

定額七百萬圓、産業道路改良費要求額四百萬圓、之に對する査定額零と傳ふ、若し事實とせば吾人産業立國策の聲明を疑ふ、併し政友會にも良心の持合せはあつた筈、査定に對する復活の實現さるべきは當然であるが、財政難に藉口して折角の良案が、廢止の浮目を觀ないやう内務當局の健在を祈る。

▽ △

行政制度審議會、陸運行政の主管を遞信省から鐵道省に移すことを決議す、少しでも陸運行政統一の方針に進んで行くのは結構、併しながら國有鐵道經營の爲に陸運の自然的發展を阻害されては困る、歩一步を進めて交通省

の新設に力めよ。

文官任用令の改正も亦議題に上る、其の趣旨とする所必ずしも悪くは無、併しながら現制度でも運用如何に依つては相當の成績は擧る筈、此成績を收め得ざる所以は官學の徒輩の跋扈に在り、之を抑制するの途を講ずるの、寧ろ人材を得るの捷徑、審議に方つて此ことを忘るゝ勿れ。

▽ △

緊締された起債政策漸く緩和さる、經濟界舊態依然たるに此事ある、蓋し從來の起債策に無理があつたに由る、起債に依つて執行する事業の當否を穿鑿せずに、起債其のものゝ名に捉はれ

て之を否認したるは確かに暴舉、吾人之が緩和を要求する數年、今其の望を達し痛快に堪へず。

起債の緩和と政府の産業道路改良助勢策と相俟つて、道路改良事業各地に計畫さる、其の計畫は遠大にして効果のあるものたるは勿論である、農村の進展將た地方開發の爲、大に實行せよ、併し吳々も注告する、地方政黨に禍ひされ交通價値を度外視して改良路線を選択するが如きことのないことを、飽くまでも不純な分子は之を排して路政の改善に盡せ。